

副専攻名 現代福祉論〔基礎〕							
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)							
人間社会学域以外の学生が、現代の社会福祉を理解するための基礎を身につける科目群として位置づけられている。福祉マネジメント論、人権論および福祉マネジメントコースの専門科目のうち最も基本的な科目の計7科目中より10単位以上を修得することによって、社会福祉の仕組みと役割に関する基礎的な知識を学び、現代の福祉制度や政策について主体的に考え取り組むための素地を形成することを目指している。							
副専攻の学修成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の仕組み、制度に関する基礎的な知識を身につける。 ・社会福祉の意義と役割を理解する。 ・現代の福祉制度や政策に対する問題意識をもち主体的に考える姿勢が身につく。 							
副専攻を構成する科目							
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4
35575	保健医療論	・現在の保健医療サービスの概要について知識をもつ。 ・保健医療サービスの利用者やその家族の視点から求められる医療と福祉の支援について考え構想する力を身につける。	2			2	
35578	人権論Ⅰ	・人権が、「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」(憲法97条)であること、その「保持」のためには、人々の「不断の努力」(同12条)が必要であることを理解する。	2			1	
35579	人権論Ⅱ	・人権保障の対象であると同時に、公務員や専門職の場合は、人権保障のにない手となること、さらには他の人の人権を尊重する姿勢を身につける。	2				1
35571	社会福祉総論	国民の生活実態と社会福祉制度の理念、歴史、運動、国際動向等を知り、政策立案・マネジメント能力の基礎を身に付ける。	2	2			
35572	社会保障論	市場経済とは異なる社会保障の仕組みとそれが現代社会において果たしている役割について理解する。そのうえで、社会保障をめぐる具体的な問題状況を新聞・雑誌・統計資料・文献等をつかって自ら整理・分析し、社会保障を見る目を養う。	2	2			
35573	地域福祉論	・地域福祉の理論と歴史を理解する。 ・地域福祉に関わる組織・団体・専門職の役割について理解する。 ・地域ニーズの把握方法と地域福祉計画について理解する。	3	2			
35510	公的扶助論	・生活保護制度の仕組みと役割について理解する。 ・貧困問題に関する歴史的、国際的展開を踏まえ、公的扶助制度の意義を理解する。	2	2			